

福音主義とは何か(Ⅱ)

講演
Ⅰ

「日本キリスト教史に おける“福音主義”」

新潟聖書学院院長 **中村 敏** 氏

1949年。新潟県生まれ。岩手大学、聖書神学舎、トリニティ神学校卒業。1975年以来新潟県で牧会と神学教育に従事する。現新潟聖書学院学院長、聖書宣教会講師。日本キリスト教史に関する著書多数。近著に『日本プロテスタント海外宣教史－乗松雅休から現在まで－』（新教出版社）がある。



講演
Ⅱ

「戦後の“福音派”とは何か」

山口陽一 氏 東京基督教大学教授

1958年群馬県生まれ。金沢大学、東京基督神学校、立教大学大学院を卒業。日本基督教団で育ち、福音主義の神学教育の薫陶を受け、主流派、福音派での奉仕を経験する。東京基督教大学教授・大学院神学研究科委員長。近著に『原発と私たちの責任』（共著・いのちのことば社）がある。



大河ドラマ『八重の桜』によって、近代日本の建設にキリスト教が果たした役割が改めてクローズアップされている昨今ですが、今回の研究会では日本キリスト教史における“福音主義”や“福音派”を取り上げます。ご期待下さい。

福音主義神学会東部部会理事長 大坂太郎

11/18 月

13:30-17:00

お茶の水クリスチャンセンター411号室

(講演は30分間の礼拝の後、14時から始まります。)

—この研究会に関するお問い合わせは—

TEL/FAX 042(985)5444 Email:bethelchurch@nexyzbb.ne.jp (大坂まで)

入場
無料
(献金有)